|  |
| --- |
| **本事業で開設したプログラム(c:地域)**【①～⑤合わせてプログラム毎に3ページ以内】○複数のプログラムを開設した場合は、様式を複製の上プログラムごとに作成してください。 |
| **①プログラム名称** |
|  |
| **②プログラム責任者** |
| （職名） |
| **③プログラム受講者の募集方法・見込み数と実際の受講者数** |
| 【実施した募集方法】　（例）ハローワークからの紹介、Web募集、地域誌掲載　等具体的に記載すること。【プログラム受講者見込み数と実際の受講者数】　　○名（主な受講者の想定　失業者、非正規雇用労働者、転職希望者等） |
| **④教育内容（授業科目等）及び教育方法** |
| 【プログラムの内容】 |
| 目的・概要 | 非正規雇用労働者、失業者、希望する就職ができていな若者、転職・起業希望者等の学び直しを推進するために、本事業においてどのようなプログラムを開設したのか概要を記載してください。 |
| 総授業時数・期間 | ６０時間程度を想定（より短時間、長時間でも可）○ヵ月間 |
| 分野、業界等 | 可能な限り、具体的に記載願います。 |
| 修得した能力、学修成果 | ■身に付けた知識、技術、技能　（例）○○に関する知識　○○の技術、技能■得られた能力　（例）○○できる能力　○○の能力■学修成果（例）履修証明書　【授与者　○○名】○○修了証　【授与者　○○名】○○士　【授与者　○○名】、○○マイスター　【授与者　○○名】 |
| 実施した教育内容・教育方法 | ・既存のプログラム等をカスタマイズした場合は、どの箇所が新規要素であるか明確に記載願います。・受講者の就職、転職、起業に向けて、どのような点が実践的かつ効果的な教育内容・方法であったのか具体的に記入してください。また、就職、転職等を見通すことのできる教育内容及び教育方法となった根拠についても記入してください。 |
| 実際に取り入れた企業等の意見とその成果 | （教育課程の編成）○○及び○○により組織する○○委員会（会議）において、○○することにより教育課程の編成に企業等の意見を○○な形で取り入れ、○○のような教育課程を編成した。 |
| 社会人が受講しやすい工夫とその成果 | （社会人が受講しやすい工夫）（例）夜間、土日やeラーニング、短期集中開講等工夫した結果、社会人の受講に変化があったかどうか簡潔に記載すること。 |
| 【授業科目一覧】

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分類 | 科目名 | 授業時数 | 対面･遠隔 | 企業等 | 双方向 | 実務家 | 実地 | 担当教員･実務家名 | 受講者数 |
| 必須 | ○○論 | 4 | 遠隔 |  |  |  |  | ○○　○○ | 35 |
| 必須 | ○○実習 | 3 | 対面 |  | ○ | ○ |  | ○○　○○ | 20 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※欄が不足する場合は、適宜追加してください。 |